

一般社団法人 全麵協 正会員の皆様へ

一般社団法人 全麵協

理事長 中谷 信一



令和2年度 全麵協事業開始の対応について

全麵協正会員の皆さん方におかれましては、平素から当法人の諸事業にご協力ご尽力いただき厚くお礼申し上げます。令和元年度の諸事業は、概ね無事順調に推移させることができました。これは、ひとえに皆様のご協力ご尽力のお陰と、心から感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年末に中国湖北省武漢市から発生した新型コロナウイルスが全世界に感染拡大してパンデミックに至っています。我が国に於いても全国的に感染者が激増しており、政府も4月7日に特措法に基づき東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県を対象区域として1ヶ月間程度の「非常事態宣言」を発令して、感染拡大防止に取り組んでいます。

全麵協に於いても感染拡大を防止させるため、3月中旬以降の各種行事を抑制させています。3月中に令和元年度の事業として開催する予定だった北海道および、東日本支部内における三段位認定会を延期しました。また、令和2年度事業として5月に宮城県仙台市に於いて開催を計画していた「一般公開そば大学講座&段位認定講習会 in 仙台」はやむなく中止せざるを得ないことになりました。その他、年度当初に実施することにしていました各種会議、講習会、研修会等についても先送りせざるを得なくなりました。また、全麵協事務局体制も縮小して業務を遂行することとしており、会員の皆様方には大変にご不便やご迷惑をおかけしていますが、このような状況下であることからご理解いただきご容赦を願う次第です。

さて、令和2年度は「そば道」を広く社会に認知させる「5ヶ年計画」の初年度として、全麵協組織基盤の強化策や支部組織を改編して5支部体制として、より地域に密着したきめ細かな活動を年度当初から展開させる予定を立てていました。しかし、前記した厳しい状況によって、本年度上半期に計画していた各種事業を予定通り執行することは困難になることが見込まれます。日本政府は新型コロナウイルスが終息した暁には、V字回復を目指すということで過去に類を見ない108兆円という大規模な経済対策を打つと表明していますので、その際は一挙に社会全体が活性化して行くのではないかと期待されているところです。

全麵協としてもその時を見据えて、今は国や自治体の自粛要請に従って静かに見守ることとして、新型コロナウイルス禍が終息する時に備え力を蓄えておく時期であると認識することが肝要と理解しています。一日でも早く我が国と世界全体が新型コロナウイルスに打ち勝ち、活力に満ちた潤いと安らぎのある平穏な社会に戻って、より多くの仲間と手を携えて「そば道」を共に歩める日が来ることを、全麵協会員の皆様と共に願うことといたします。